

会員限定 講座 2023年度 1級合格キャリア塾 8回+オプション3回

回	東京 9:30~16:30	カリキュラム内容真の指導者を育成し1級資格認定実技試験の合格を目指すアクティブラーニング形式の講座
システムティック・アプローチのプロセスを正しく理解し、後進のわかりやすく指導するためのポイント動画を講義習として視聴していただきます		
1	7月9日(日) 東京都立産業 貿易センター 浜松町館	本講座のガイダンス及び第12回試験結果から実技試験の次回での合格のポイントを把握する。1級試験の制度設計や構造理解から2級試験との違いを知り、習得すべきスキルや知識を把握するとともに、1級の「評価区分」を理解して、合格のために認識する。指導者の必要性和社会的ニーズを踏まえ、「自分らしい指導者像」を明確化する。 宿題：10月1日の講座の使用教材作成：ロールプレイを録音しケース記録を作る(逐語作成)
2	8月6日(日) 都立産業貿易 センター浜松町館	1級面接試験の試験実施概要から、30分のロールプレイを構造化するとともに、10分の口頭試験の内容を分析し、それぞれの段階で何かが評価されているのかを理解することで、面接試験の仕上がりイメージする。1級ならではの「一般化」や「二重構造」を理解する。
3	9月2日(土) 東京都立産業 貿易センター 浜松町館	今の実力を自己採点して自分に足りないスキルを確認し、補填する方法を確立する。評価区分の項目と自身の30分のロールプレイとの差異をクリアにする。 評価区分に沿ってそれぞれ何をすべきかを考え、傾聴が出来ない事例相談者や、CC視点の問題が分からない事例相談者の問題を把握し、どのように気づきを促すかを学ぶ。 宿題：2級指導のための教材作成 12月3日提出
4	9月3日(日) 東京都立産業 貿易センター 浜松町館	カウンセリング理論(システムティック・アプローチ、コーヒカップ理論、来談者中心アプローチなど)を正しく理解し、それを指導者として平易な言葉を使って、事例相談者に説明する力を養い、ロールプレイで実践できる力を身につける。理論を巧み使しながら面談を行う能力を身に付け、真の指導者を目指す。
OP	9月30日(土) 全労連会館 御茶ノ水	(オプション：一般受講者も合流参加) 午前の部・午後の部(少人数制、各3時間) ロールプレゼミ ：講師が事例相談者役を演じるロールプレイを体験し、ロールプレイに即したフィードバックを得ることで、自身の到達点と課題を確認するとともに、困っていることを早めにクリアするための方向性を知ることができる。
5	10月1日(日) 東京都立産業 貿易センター 浜松町館	自身の面談における課題・改善点を一般化する能力を身につける。 ほかの受講者のロールプレイのフィードバックをするときも、課題を指摘するのではなく、指導者としてアサーションスキルを意識して、抵抗されない伝え方を体感する。 グループスーパービジョン体験 ：自分の作成したケース記録でスーパーバイザーを体験し、どんな言葉をかけてほしいかを体感する。同時にスーパーバイザーも経験し、指導者の意味を理解する。この2つの役目を経験することで、1級試験のイメージを具象的に掴む。
OP	11月4日(土) 都立産業貿易 センター浜松町館	(オプション：一般受講者も合流参加) ロールプレゼミ ：午前中に30分のロールプレイの流れと評価区分を確認する。二重構造を理解し、合格の成否を決する一般化と目標設定・合意ができるようになる。
6	11月5日(日) 東京都立産業 貿易センター 浜松町館	論述試験対策 ：必須問題と選択問題の解答の要素、解答への指針を確認し、答案の完成度を上げる。必須問題や選択問題の各問で問われている事項を理解して、答案に記述すべき内容を把握し、実際に記述してみる。当会オリジナル論述模擬試験について、その場で解答を書き上げ、個別指導を受けることで答案の精度を上げる。
7	12月3日(日) 東京都立産業 貿易センター 浜松町館	逐語記録と自身のロールプレイを通して、事例相談者視点の問題把握、事例指導者視点の問題把握、問題解決の目標設定から合意形成、方策の実行に至るプロセスを見立てる力をアップする。事例相談者の不安払拭を意識し、事例相談者に気づきを与える質問や一般化、目標設定における抵抗・拒否を未然に防ぐ方法や抵抗する心理分析を行って対策を構築する。
8	12月23日(土) 都立産業貿易 センター浜松町館	第13回面接本試験のケース分析と見立てを行い、具体的展開力を強化する対策を講じる。自分に足りないスキルを理解し、試験日までに、どのように修正していくかを考え、自分らしい指導者像を確定させる。
OP	12月24日(日) 全労連会館 御茶ノ水	(オプション：一般受講者合同) 午前の部・午後の部(少人数制、各3時間) ロールプレゼミ ：講師が事例相談者役を演じるロールプレイとフィードバックを受けることで、年内に本試験のケースの理解と、自身の面談の仕上がり具合を客観視することができる。1回でもRP回数を増やす。

試験合格のためだけでなく、本当の指導者像を追究する講座です。

試験官が採点している評価区分を理解し、指導者を養成する講座です。試験合格のHow-toの講座ではありません。

受講者は、本講座を受講することによって後進からのどのような質問にも対応できるようになります。 20130603